

環境調査結果のお知らせ

令和7年6月13日11時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で92,000 cells/mL確認されました。ヘテロシグマ・アカシオは漁業被害が想定される密度（50,000 cells/mL）を超えています。また、当該プランクトンは局所的に濃密な赤潮を形成しており、この赤潮水塊が波浪・潮流等で移動する可能性があるため、近隣漁場の状況にも十分注意してください。なお、本日は着色の原因と考えられるヘテロシグマ・アカシオのみを対象として検鏡しています。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度 (m)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ヘテロシグマ・ アカシオ
A ガラク (6.1m) 【12:14】	0	23.1	31.7	8.3	2,200
	2	22.8	32.8	7.6	-
	5	22.4	33.7	7.0	0
	10	22.3	33.8	6.9	-
	底層 13.5	21.9	34.1	7.0	-
B 勢井 (2.6m) 【12:22】	0	23.3	31.2	9.6	2,400
	2	23.0	32.4	8.3	-
	5	22.7	33.4	6.1	400
	10	22.2	33.8	6.0	-
	底層 17	21.8	34.1	6.2	-
C 馬の背 (3m) 【12:27】	0	23.3	31.5	9.3	400
	2	23.0	32.5	8.4	0
	5	22.6	33.4	6.6	0
	10	22.2	33.9	6.9	0
	底層 22.5	21.5	34.2	5.7	-
D 大室戸 (2.5m) 【11:59】	0	23.5	30.7	10.2	6,800
	2	23.0	32.2	8.6	-
	5	22.5	33.5	6.5	0
	10	22.3	33.8	6.9	-
	底層 19	21.8	34.1	6.4	-
E 白浜 (6m) 【12:06】	0	23.3	30.7	9.0	160
	2	22.8	33.0	7.4	-
	5	22.6	33.5	6.8	0
	10	22.4	33.7	6.7	-
	底層 15.5	22.0	34.0	6.4	-
F 野見漁協前 (0.8m) 【11:37】	0	23.6	27.9	17.6	92,000
	2	23.0	32.5	8.3	-
	底層 5	22.8	33.2	5.9	350

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・アカシオ
	(m)	(℃)		(mg/L)	
G 湾奥ブイ (1.8m) 【11:42】	0	23.6	31.0	10.2	23,100
	2	23.2	32.4	8.6	1,400
	5	22.7	33.3	6.4	0
	10	22.3	33.8	5.5	0
	底層 15	21.9	34.1	5.8	-
H 大谷漁港内 (1m) 【12:37】	0	23.4	26.4	14.4	70,000
	2	23.0	32.5	8.6	-
	底層 4	22.7	33.1	6.0	-
1 タンポ (4m) 【11:52】	0	23.5	31.7	8.0	250
	2	22.9	33.1	7.0	-
	5	22.7	33.4	6.1	0
	10	22.4	33.7	4.7	-
	底層 12	22.2	33.8	4.3	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Ceratium</i> spp. (ケラチウム属)	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—			
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: ガラク

B: 勢井

C: 馬の背

D: 大室戸

E: 白浜

F: 野見漁協前

G: 湾奥ブイ

H: 大谷漁港内

1: タンボ